

# 「次世代エネルギー・社会システム実証事業」の推進 など、再生可能エネルギーの普及・拡大について

【担当省庁】経済産業省、環境省

京都府ではエネルギーの地産地消を進め、スマートグリッド技術の早期実用化を図るため、「次世代エネルギー・社会システム実証事業」をけいはんな学研都市において実施していますが、実証事業内容に応じた平成26年度までの支援の継続と、それらの技術を活かしたスマートコミュニティ構築を図るため、「創エネ」、「蓄エネ」、「省エネ」施策を促進するための取組に対し、予算を重点配分いただきますようお願いいたします。

## 経済産業省の概算要求

### スマートコミュニティの実証など普及促進事業 157億円

再生可能エネルギーを大量かつ安定的に受け入れ、需給を調整するエネルギーマネジメントシステムの構築に向け、国内4地域（けいはんな学研都市（京都府）ほか）において、スマートコミュニティの社会実証を実施

■次世代エネルギー・社会システム実証事業 126億円 ほか



## 京都府からの要望

### 次世代エネルギー・社会システム実証事業に係る予算措置等

- (1) メガソーラー（大規模太陽光発電所）の建設支援をはじめ、風力、地熱などの再生可能エネルギーの普及・拡大について、国家戦略として重点的に取り組むこと。
- (2) 再生可能エネルギーの拡大に向けては、京都府の「けいはんな学研都市」においても「次世代エネルギー・社会システム実証事業」の成果を活かし、エネルギーの地産地消モデルの構築によるエネルギー管理や、地産地消型都市づくりのための技術・機器・システム開発・実用化に向けた取組などを推進しているところであり、「次世代エネルギー・社会システム実証事業（補助金）」について、平成26年度までの予算確保及び重点的な予算配分を行うこと。

(3) 京都府では、「けいはんな学研都市」にある京都府立大学精華キャンパスにおいて、植物系実験研究棟（植物工場）を備えた産学公連携研究拠点施設を本年4月に開所するとともに、太陽光発電や燃料電池等を用いた次世代型植物工場の実用化実験を実施するため、グリーンイノベーションパークの整備を進めているところであり、環境と農業を結びつけた新たな産業創出の拠点づくりのため、積極的に支援すること。

## 京都府の現状・課題等

### ◆ けいはんな地域「次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」

※ 全国20地域から応募があり、4地域（京都府（けいはんな）、横浜市、豊田市、北九州市）が指定されたもの。

1 計画期間：5年間（平成22年度～平成26年度）

2 総事業費：約60億円（計画ベース）

3 特徴：

我が国でも珍しい人口が増加し、新たな都市建設整備が進められている「けいはんな学研都市」において、住民参加のもとで、学研都市で生み出される先進技術や太陽光発電等の分散電源など、新たな技術を活用し、エネルギーの地産地消による日本一CO2排出量の少ないまちづくりを実現するため、環境にやさしい、安定的、経済的に優れた次世代エネルギー・社会システムの構築を目指す。

4 取組内容：

①地域EMS（エネルギーマネジメントシステム）	「家庭」「ビル」「EV・EV充電」を結び、電力系統との相互補完を行うとともに「ローカル蓄電池」の制御やデマンドレスポンスなどにより地域全体のエネルギー効率の向上や負荷平準化を図る最適なエネルギーマネジメントの開発実証
②再生可能エネルギーの大規模導入	同志社山手地区をはじめ、精華台地区、木津地区で街区全戸に太陽光発電等を大規模導入
③ライフスタイルの変革	家庭における省エネ活動に応じてエコポイントを付与することにより、省エネ行動の喚起やライフスタイルを変革
④国際展開・標準化	次世代エネルギー・社会システムのけいはんなエコシティモデルを構築するとともに、確立されたモデル全体を輸出パッケージとして国際展開を図る。

5 推進体制：推進協議会（会長：京都府、副会長：(株)三菱重工業・(財)関西文化学術研究都市推進機構）を中心に、推進幹事会やワーキンググループを設置し、26の団体や企業で取り組んでいる。

6 事業実績・全体スケジュール

<H22年度>

- 各システムの設計・開発
- 「見える化」実証開始（51戸）<同志社山手>
- HEMS実証用住宅建設（14戸）<同志社山手>
- 府実証用住宅建設（京エコハウス）<同志社山手>
- BEMS実証用ビル整備（けいはんなプラザ）※環境省事業活用「チャレンジ25地域づくり事業」（太陽光、太陽熱、LED、高効率空調等）

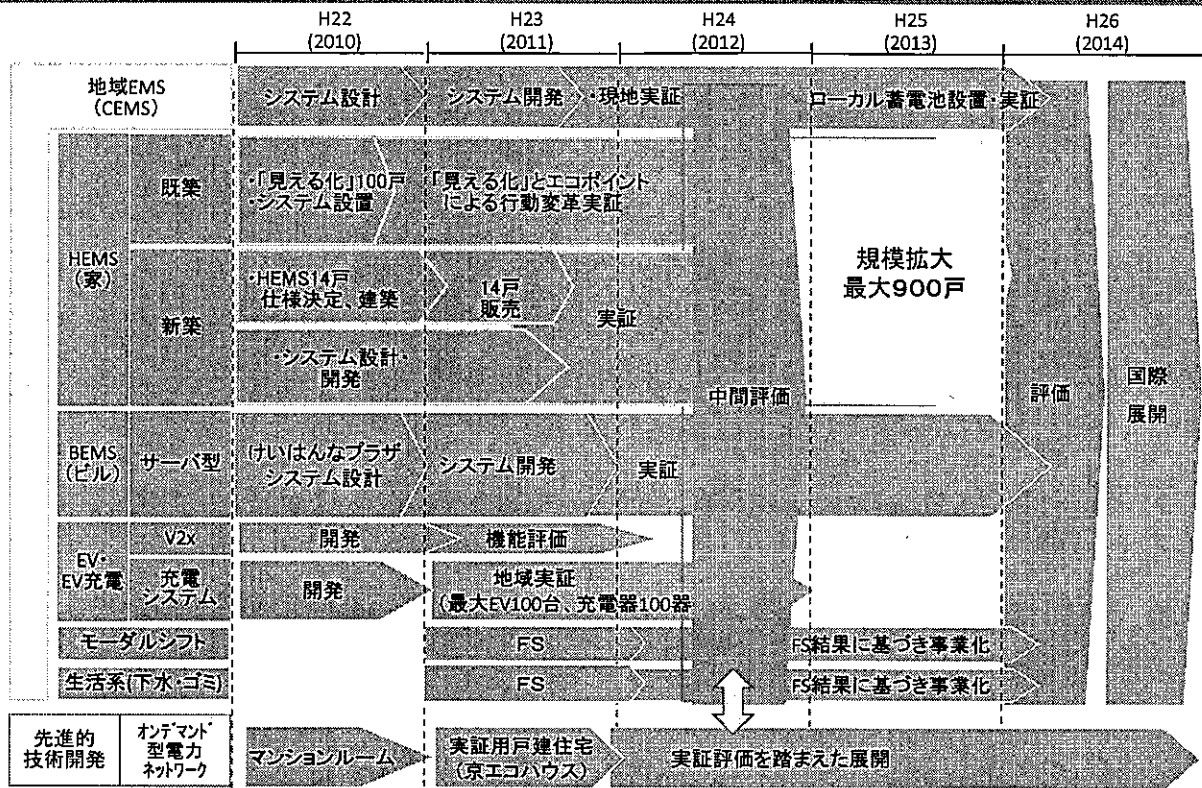
<H23年度>

- 各システムの開発・一部実証開始
- HEMS実証用住宅（14戸）完成・販売、機器設置（太陽光、蓄電池、制御機器）、実証開始
- 「見える化」実証拡大（51戸→100戸）※府補助金導入（太陽光+「見える化」）
- EV充電インフラ整備 ※府補助金導入（EV60台、EV充電器85基）
- 府実証用住宅（京エコハウス）完成・実証開始<同志社山手>

<H24年度>（予定）

- CEMSと各EMSを接続したデマンドレスポンス等によるエネルギーの需給調整の実証開始
- HEMS実証用住宅（14戸）とCEMSとを接続した実証開始
- HEMS実証拡大（900戸への展開）※府補助金導入予定（太陽光、「見える化」等）
- BEMS実証用ビル（けいはんなプラザ）とCEMSとを接続した実証開始
- EV（60台）でCEMSとEV管理センターを接続した実証開始
- EV充電インフラ整備 ※府補助金導入予定（EV40台、EV充電器55基）

全体スケジュール



※ITS : Intelligent Transportation System

◆ グリーンイノベーションパークの整備について

- 平成 23 年 4 月 京都府立大学精華キャンパスにおいて、植物系実験研究棟（植物工場）を備えた産学公連携研究拠点施設を開所
- 平成 23 年 10 月 京都府立大学精華キャンパスにおいて、太陽光発電・燃料電池を備えた創エネ・省エネ型植物工場を整備するため、「グリーンイノベーションパーク整備費」を補正予算で計上（50,000 千円）

【京都府の担当部局】

政策企画部	文化学術研究都市推進室	075-414-5194
文化環境部	環境政策課	075-414-4703
	地球温暖化対策課	075-414-4708
商工労働観光部	ものづくり振興課	075-414-4852